

FOG DAYLIGHT

LED FOG DAYLIGHT SYSTEM

この度は弊社製品「フォグデライトコントローラー」をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。本製品は純正フォグランプをデライト化し多機能にコントロールするシステムです。本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用の前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。
★本文では「フォグデライトコントローラー」を「LFD」と略して表示しております。

【製品の特徴】

★自動点灯・消灯機能

エンジンを始動させるとDC本体のスタート回路が働き、純正フォグを自動点灯させます。またエンジンを停止させると数秒後に自動消灯します。

★アンサーバックシグナル機能 *アンサーバック信号によりハザードが2回点滅する車両に装着可

リモートキーにてアンロック信号を送った時、LEDバルブが10秒間点灯します。車外よりアンロック状態の確認が容易に出来ます。
『アンサーバックシグナル機能』を作動させる場合は1本配線が必要です(ウインカー信号へエレクトロタップにて接続)

★バッテリー保護機能

LFDはバッテリーの状態を常に監視し、バッテリー電圧が低下した場合は自動的にデライトを消灯させます。
バッテリー状態により最適な作動をさせる為、調整機能も備えています。

★LED保護機能

独自の『LED保護回路』により車両の過電圧、過電流から、LEDバルブを守ります。

お願い! 本製品は性能向上などの理由により取り扱い説明書の変更をおこなっております。お手元の取り扱い説明書のVol番号が最新でない場合はお手数ですが当社ホームページを閲覧のうえ、最新版の取り扱い説明書を参考に取付作業、調整をおこなって下さい。

△危険 この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される差し迫った危険な状況を示します

- 本製品および付属品は確実に固定し、運転の妨げになる場所・不安定な場所に取り付けしないでください。運転に支障をきたし事故の原因となります。
- 本製品の装着により車両に異常が出たままの状態で行き続けると、予期せぬトラブルを誘発するばかりでなく、事故を招く可能性があります。性能が損なわれている場合は専門業者に点検、整備を行ってください。
- 本製品の加工・分解・改造などは一切行わないでください。事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。加工・分解・改造等の形跡が見られた場合、クレーム・修理の対象外とさせていただきます。
- エンジン本体、ラジエター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。必ず各部品の温度が下がってから作業 をはじめてください。

△警告 この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される潜在的に危険な状況を示します

- 本製品は車両電源がDC12V車用です。12V/24V兼用車または、24V車には使用しないで下さい火災の原因となります。
- 本製品の取り付け時は使用しない配線などは絶縁テープを巻くなどして必ず絶縁対策を行って下さい。ショートなどにより火災、電装品、エンジン、車両の破損の原因となります。
- カプラーを外す場合には無理にハーネスは引っ張らず、必ずカプラーを持って取り外してください。ハーネスが破損すると、ショートなどにより火災、電装品の破損、焼損の原因となります。また製品の故障の原因となります。

△注意 この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、物質損害を負う可能性が想定される潜在的に危険な状況を示します。

- 取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損、紛失しないように大切に保管してください。弊社では、取り付け作業による物的損害の責任を負うことが出来ませんので慎重に作業を行ってください。
- 本製品は精密部品ですのでハーネスの取り回しで強力な信号、ノイズの発生しやすい箇所は避けてください。誤作動する恐れがあります。
- 本製品に付属するハーネスは耐熱部品ではありませんので高温部を通す場合は必ず熱対策をおこなってください。

- <付属品> ●LEDバルブ×2個 ●コントロールUNIT×1個 ●接続ハーネス×1個
●タイラップバンド×7本 ●エレクトロタップ×1個 ●両面テープ(小長)×2枚 ●アルミ袋×1枚
*H3バルブ用 ●オス・メスギボシ&スリーブ×2個

△警告 本製品はLED専用部品です。ハロゲン・HIDバルブとの併用は出来ません。

<取り付け方法>

- △注意** ◎LFDは必ずLEDデライトと組み合わせて使用して下さい。ノーマルバルブと組み合わせて使用した場合、LFDが破損します。
◎取付作業には配線加工をしますので圧着ペンチ、絶縁テープ等が必要です。
*誤配線・接触不良等による本体破損はクレームの対象にはなりませんので慎重に取り付けてください。
◎ヘッドライト・バンパー等はずして作業したほうがスムーズに取り付けがおこなえる場合があります。判断してから作業をおこなって下さい。
*取り外し方などはディーラー、専門業者に問い合わせてください
◎ハーネス類は運転の妨げにならぬようにまとめて本体を固定して下さい。

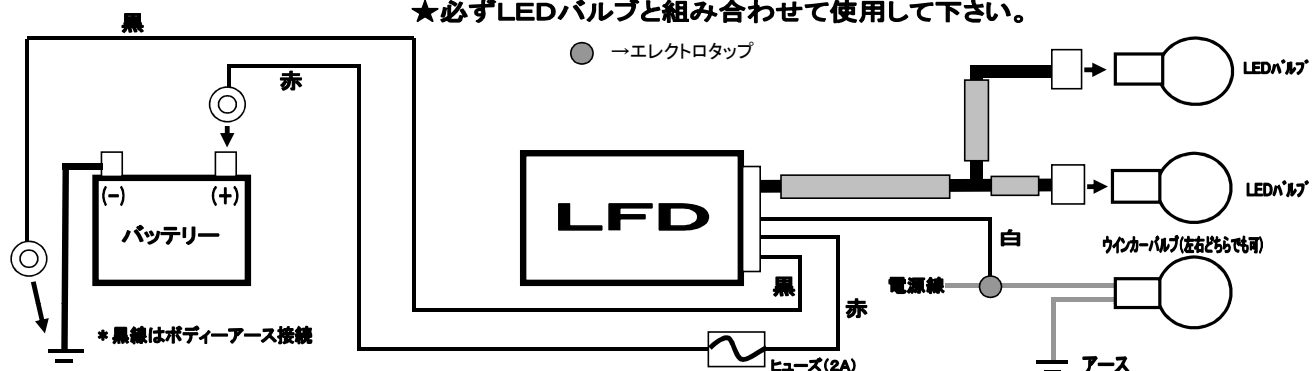
【LEDバルブへの交換】 ★純正フォグランプのバルブをキットのLEDバルブへ交換して下さい。

- LEDバルブは落下等の衝撃により破損してしまいます。慎重に作業をおこなって下さい。
- 挿入方向等に十分注意して下さい。
- 交換後、車両のカプラーは使用しません。車両側カプラーはテーピングして固定して下さい(重要)

注意! LEDバルブの保障期間は、初期不良の対応のみとさせていただきます。慎重に扱って下さい。

【配線方法】 ★デライトヘカプラーにて接続、*H3バルブはLEDバルブへの接続方法が異なります。【配線方法2】を参照して下さい。 ★ハーネスの長さが足りない場合は、お手数ですが0.3mm(AWG22)以上の太さの配線にて延長して下さい。

★必ずLEDバルブと組み合わせて使用して下さい。



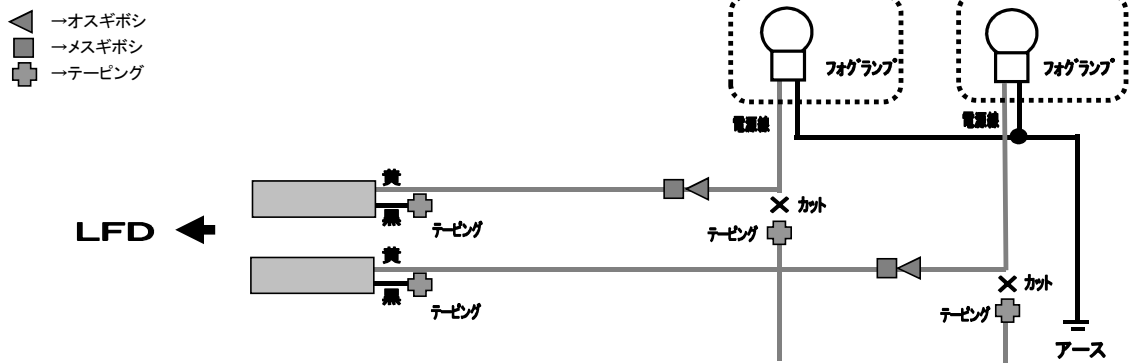
①左右のLEDフォグランプにLFDのカプラーを接続して下さい。(H3は配線方法2を参照して下さい)

②抜いた車両側のカプラーは使用しません。テーピングをしカプラーの端子部に水のかからぬよう処理して下さい。(重要!)

- ③ ウィンカーの電源線をテスターにて確認し、LFDの白線をエレクトロタップにより確実に接続して下さい。
● ウィンカーを作動させた時に12v電源が発生する線です。
- ④ バッテリーの(+)端子へLFDの赤線を確実に装着して下さい。
● (+)端子側に電流センサーの付いている車両はLFDの配線を電流センサーのコアに通してから接続して下さい(ホンダ・スズキ他)
● LFDの赤線は常時12v線でも可(この場合、2A以上の余裕のある配線へ接続)
● トヨタプリウス、他一部車両はバッテリー(+)端子への接続が出来ません。エンジンルーム内ヒューズBOXの『ホーン』『ハザード』等のヒューズより、市販のヒューズ電源等にて接続をおこなして下さい。(参考 LDFの消費電流は0.5A程度です)
- ⑤ ボディーアースへLFDの黒線を確実に装着して下さい。 * 注意！ バッテリー(-)は電流センサーが付いている場合があります。ボディーへ確実にアースして下さい。
- ⑥ 調整終了後、LFD本体は、熱・水の影響を受けない場所へ両面テープにより固定して下さい。またエンジン駆動部等に干渉しないように配線を引き回して下さい。
● 固定する前に付属のアルミ袋の中に本体を収めてから固定して下さい。
● リレー、ヒューズBOX内等推奨
注意！ 本体は防水加工されていません。本体内部浸水による故障は保証対象外とさせていただきます。ご了承下さい。

【配線方法2・H3バルブ専用】 ★H3バルブの接続方法は下記を参考におこなして下さい。

★LFDの黄色線は必ず電源側の配線へ接続して下さい。アース側配線へ接続すると本体は破損します。



- ① フォグランプより出ている2本の線のうち、電源線を確認して下さい。(フォグランプを作動させた時に12v発生する配線が電源線です、もう1本はアース線です)
- ② フォグランプの電源線をカットし、LFDの黄色線をオス・メスギボシ&スリーブにて接続して下さい。
● カットした逆側(車両側)の配線は使用しません。ボディーに触れると大変危険です。確実にテーピングして下さい。
● LFDの黒線は使用しません。確実にテーピングして下さい。
注意！ 配線位置を間違えると、LFD本体が破損します。慎重におこなして下さい。
- ③ 他の配線は、上記の【配線方法】を参考におこなして下さい。

【作動確認】 ★取り付けが終了したら、下記の要領で作動確認をおこなして下さい。

★デライト機能

エンジンを始動させ、フォグ(LED)が点灯するか？エンジンを停止させた時に、フォグ(LED)が消灯するか？確認して下さい。

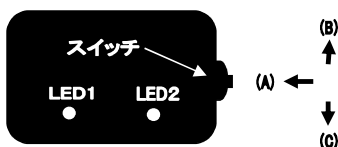
- この機能はバッテリー電圧により作動-非作動の判断をおこなっています。点灯・消灯のタイミングに数秒のタイムラグが生じます。
* エアコン、ヘッドライト等の電気負荷によってタイミングが変化します。
- 点灯・消灯のタイミングは、本体の調整で調整出来ます。詳しくは下記項目の<点灯・消灯タイミングの調整方法>にて確認して下さい。

★点灯・消灯タイミングの調整方法 ★バッテリー、配線等をははずした場合は、初期値に戻ってしまいます。再調整をおこなして下さい。

△ 注意 走行中に消灯・点灯を繰り返すと保安基準を満たしません。調整は確実にこなして下さい。

<データリセット方法>

- ① スイッチを矢印(A)方向に押し続けて下さい
- ② 最初LED1と2が点灯し、2秒後にLED1と2が3回点滅し、その後消えます。
- ③ LEDが消灯したらリセット完了です。



<点灯を遅く、消灯を早くしたい場合>

- ① リセット状態から、回数を数えながらスイッチを(B)の方向に倒し最適な状態に設定して下さい。1回操作するごとにLED1(赤)が点灯します。
- 最大6ポイントの調整が可能です。
- 最大値になった時はLED1(赤)が2回点滅します。
- 回数がわからなくなった時は、一旦リセットを行ってから、再調整して下さい。
★設定電圧になってから2秒後に消灯します。

<点灯を早く、消灯を遅くしたい場合><走行中に時々消灯してしまう場合>

- ① リセット状態から、回数を数えながらスイッチを(C)の方向に倒し最適な状態に設定して下さい。1回操作するごとにLED2(青)が点灯します。
- 最大16ポイントの調整が可能です。
- 最大値になった時はLED2(青)が2回点滅します。
- 回数がわからなくなった時は、一旦リセットを行ってから、再調整して下さい。
★設定電圧になってから2秒後に消灯します。

+6
+5
+4
+3
+2
+1
初期値
-1
-2
-3
-4
-5
-6
-7
-8
-9
-10
-11
-12
-13
-14
-15
-16

(B) ↑
■
↓ (C)

★アンロックシグナル機能の確認

リモートキーにてアンロック信号を送った時、LEDバルブが約10秒間点灯するか？確認して下さい。

- アンロック信号によるハザードの点滅を2回した後に点灯します。

注意！ この機能はアンロック信号によるハザードの点滅が2回する車両に限ります。

★正常作動しない場合は？

- 配線の接触等を再確認して下さい。
- エンジン始動中でもバッテリー電圧の低下によりデイルイトが消える場合があります。この場合は<点灯・消灯タイミングの調整>をおこなって下さい。
*点灯を早くする方向へ調整
- ハザードの点滅速度が極端に純正状態と違う場合、アンロックシグナルが作動しない可能性があります。この場合はハザード速度を再調整して下さい。
- ハザード使用中はアンロックシグナルは作動しません。

★ヒューズについて

配線のショートにてヒューズが切れた場合は原因を完全に直してからヒューズ交換をおこなって下さい。(2A)

【保安基準について】 当社では下記の内容にて保安基準の確認をしております。参考にして下さい。

2011年8月(品川陸運局検査法人) 2012年1月(関東運輸局東京運輸支局)

①純正フォグランプのバルブをLED化した場合

- 300cd以下であれば『その他の灯火』として保安基準を満たす。
*当社テストでは当社製LED交換バルブを民間車検場にて測定したところ、十分に基準を満たしました。(2011年8月・100cd以下)
- フォグランプではなく『その他の灯火』とする為、車両のフォグランプスイッチに連動してはならない。
- フォグスイッチをどうするか?に関しては、局内の見解としてもはっきりした規定はない。

②デイルイト

- デイルイトという正式な規約はない、あくまで『その他の灯火』として保安基準を満たす。
- あくまで『その他の灯火』なのでスモールに連動して消灯・減光させる必要はない。
- 『その他の灯火』は、フロントは赤以外、リヤは白以外の色でなければならない。トラック、タクシー等の速度表示等と同じような場合は不可
- 走行中に消灯・点灯を繰り返すと『点滅しているとの見解から』保安基準を満たさない。
- 走行中に任意に消灯・点灯出来ると保安基準を満たさない。

保証規定

注意事項

本保証規定に同意の上ご使用ください。

1. 商品の不良の際は同等品と交換、もしくは無償にて修理させていただきます。
上記以外での交換、返品などにはお受けいたしません。
2. 不良商品交換の場合は新しい商品と引き換えに交換商品を梱包状態にてお返ください。
3. 保証期間内はお買い上げ時の保証書、領収書(レシート)商品のパッケージ、付属品等を大切に保管してください。

保証期間について

- 商品の不良による保証は商品お買い上げ後、下記期間とさせていただきます。

* 本体→1年間

* LEDバルブ→初期不良のみ対応

- 保証期間内であっても下記の『保証基準について』を満たしている必要があります。

保証基準について

当社にて商品を検証後、商品不良と認められた場合、交換もしくは修理させていただきます。また、検査に日数をいただく場合もございますのでご了承下さい。

『保証基準』とは以下の条件を満たしている必要があります。

1. 商品の付属品(パッケージ、説明書含書類等)がすべて揃っていて、なおかつ損傷がないこと。
2. お客様による輸送、移動時の落下等、お取り扱いが適当でない為に生じた故障、損傷でないこと。
3. 製品の取扱説明書に記されている使用条件、または使用上の注意事項を逸脱して使用されていないこと。
4. お客様によって商品の変更、改造等がおこなわれていないこと。
5. 火災、天災、異常電圧等による故障、損傷でないこと。
6. 接続されている他機器に起因して、本製品に故障が生じていないこと。
7. 保証期間内であること。

その他

- 商品が起因する車両故障などは一切応じられません。
- 商品不良、交換等による作業工賃には一切応じられません。
- 商品ご故障によって生じたレッカー、代車等の費用請求には応じられません。
- 修理中の商品の代替え品貸し出し品などは一切おこなっておりません。
- いかなる場合でも、当社に商品を発送する際には必ず事前にご連絡下さい。
- 営業車両、商用車両へ商品装着時の保証はいたしません。
- 当保証規定はおお客様の法律上の権利を制限することは一切ありません。
- 当保証規定は日本国内においてのみ有効です。

保証書

商品名:	LFD-
装着車両:	
症状:	
お客様名:	
ご住所:	
★日付の記入された店名印もしくは領収書を添付して下さい。	
有限会社 ジェイ・ロード	